

事務事業名	真岡市小中学校教頭会運営補助金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係	
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和47年度～）	
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）	
事業概要	市内23校の教頭（24名）の資質の向上及び連絡協調を図るために、「真岡市小中学校教頭会」が組織され、同会に対して、運営補助を行う。年5回の市教頭研修会を実施している他、全国、関東ブロック研修会に参加している。補助金額103,500円						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 教頭会より交付申請書（事業計画書）を提出させ、運営支援のための補助金を交付する。  2年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア 補助金額	円	104	104	104	104	104	
	イ 研修回数	回	5	5	5	5	5	
	ウ エ オ							
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 真岡市小中学校教頭会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移							
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア 教頭会加入人数	人	28	28	24	24	24	
	イ ウ エ オ							
	③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 教頭の資質の向上と連絡協調を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
ア 事業を通じて資質の向上及び連絡協調が図れたと感じた教頭数		%	28	28	24	24	24	
イ ウ エ オ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 円滑な学校運営と教育の充実に図る。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア 円滑な学校運営と教育の充実に図れた学校の割合	%	100	100	100	100	100	
	イ ウ エ オ							
	(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	104	104	104	104	104	
	事業費計(A)	千円	104	104	104	104	104	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	108	108	108	108	108	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	教頭としての資質の向上及び連絡協調を図るために組織されたことによる。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	